

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしつかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

今	し	か	で	き	な	い	青	春	を	大	切	に
岳	南	中	学	校	二	年	水	谷	結	愛		
屋	久	杉	ラ	ン	ド	。	名	前	の	通	り	そ
こ	に	は	多	く	の							
屋	久	杉	が	生	育	し	て	い	る	。	私	は
何	度	も	屋	久	杉	ラ						
ン	ド	を	訪	れ	た	こ	と	が	あ	る	が	。
毎	回	そ	の	雄	大	な						
自	然	に	驚	か	さ	れ	て	い	る	。		
一	番	最	近	に	屋	久	島	ラ	ン	ド	に	行
っ	た	の	は	。	同							
級	生	の	み	ん	な	と	一	緒	に	登	山	遠
足	に	行	っ	た	と	き						
だ	。	当	初	の	予	定	で	は	。	白	谷	雲
水	峡	。	そ	し	て	そ						
の	先	に	あ	る	太	鼓	岩	に	登	る	予	定
だ	っ	た	。	し	か	し						
中	学	校										
当	日	が	悪	天	候	だ	。	た	た	め	。	急
遽	屋	久	杉	ラ	ン	ド						
に	行	く	こ	と	に	な	っ	た	。	皆	白	谷
雲	水	峡	に	行	く	気						
満	々	だ	。	た	た	め	。	落	ち	込	む	人
や	っ	行	き	た	か	。						
た	あ	。	と	嘆	く	人	た	ち	が	多	く	。
あ	ま	り	い	い	ス	。						
ト	は	切	れ	な	か	。	た					
屋	久	杉	ラ	ン	ド	に	着	く	と	ま	ず	。
四	つ	の	班	に	分							
か	れ	た	。	近	く	に	あ	る	建	物	の	中
で	。	引	率	を	し	て						
く	だ	さ	る	方	々	に	換	撥	と	自	己	紹
介	を	し	て	。	建	物						
を	後	に	し	た	。							
雨	が	降	っ	て	い	た	の	で	カ	ッ	。	パ
を	着	て	外	に	出	た						

No.

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおぎない、むだなことはけずりましょう。

(不 許 複 製)



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

正直に言うところ屋久島育ちの私からしたら大した大雨ではなかったけれど、カッパを着ることを指示されたので、渋々少し大きいカッパに袖を通した。そして私たちは雨の降る中、屋久島ランドに足を運んだ。すると、引率しつくださっているガイドの方が、入口近くに生えていた杉もみ、そして松を見て、その三つの木の葉で、簡単に似ているその三つの木を見分けられることを教えてくださった。我慢になつてしまいが、私は小学校五年生か

中学校

ら実施される屋久島ジュニア検定に三年連続で合格しており、屋久島博士の認定もしている。ただいた。それもある。今まで学校行事などガイドさんが何か説明してくださっている。でも、大体が知っている情報であることがほとんどで、今回もそうだろうと思い、少し憂鬱だった。しかし、そのとき教わった内容はどれも知らない情報ばかりで、とても勉強になった。勝手に期待していなかった過去の自分がいかに失礼だったかを実感しつつ、いろいろ

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

い	ろ	な	情	報	を	教	え	て	く	だ	さ	っ	て	あ	り	が	た	か	っ	た。
こ	の	屋	々	杉	ラ	ン	ド	で	一	番	感	動	し	た	の	は	、	苔		
だ。	緑	い	っ	ぱ	い	の	苔	に	、	栗	が	落	ち	て	い	る。	木			
の	枝	か	ら	ぶ	ら	下	が	っ	て	い	る	形	の	苔	に	は	、	氷	柱	
の	よ	う	な	形	の	栗	が	で	き	て	い	た。	栗	の	中	を	の	ぞ		
く	と	別	の	世	界	が	待	っ	て	い	そ	う	で	と	て	も	あ	く	あ	
く	し	た。	雨	の	最	中	に	行	っ	た	か	ら	こ	そ	、	こ	ん	な		
い	い	景	色	を	見	る	こ	と	が	で	き	え	、	と	て	も	い	い	思	
い	出	に	な	っ	た。															
中学校																				
帰	る	と	き	、	別	の	班	の	人	た	ち	が	雪	を	持	っ	て	き		
て	い	た。	雨	の	後	と	い	う	こ	と	も	あ	っ	て	、	も	は	や		
氷	と	化	し	て	い	た	か	、	あ	ま	り	雪	に	慣	れ	て	い	な	い	
私	た	ち	が	ら	す	る	と	、	そ	え	は	立	派	な	雪	で	、	み	ん	
な	で	雪	合	戦	を	し	た。	ほ	ぼ	氷	な	の	で	、	も	ち	ろ	ん		
当	た	っ	た	と	き	の	痛	み	は	半	端	で	は	な	い	か	、	そ	え	
よ	り	も	今	こ	こ	で	し	か	で	き	な	い	最	高	な	青	春	に	み	
ん	な	全	力	を	注	い	で	い	た。	あ										
あ	の	日	見	た	景	色	、	そ	し	て	忘	れ	ら	れ	な	い	思	い		
出	。と	て	も	か	け	が	え	の	な	い	も	の	だ	っ	た	と	思	う。		

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

(月 日 曜日)

もうあのメンバーでは同じことができないと
考えると、やはり、日常を大切にしながらは
ならないなと思う。今こころでしかできない青
春を、みんなで、たくさん作っていきたい。

中学校

No. _____

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

(不許複製)

